

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 ■北海道ブロック □東北ブロック □関東甲信越ブロック □東海北陸ブロック □近畿ブロック
□中四国ブロック □九州ブロック

建築士会名 (支部等含む)	北海道建築士会 室蘭支部青年委員会	事業名	ふれあい木工教室
------------------	-------------------	-----	----------

●活動の種別 □建築物調査、保存・再生 □景観形成、街並み保存・修景 ■地域活性化 ■教育・人づくり
□防災まちづくり □ユニバーサルデザイン □環境保全 □住まいづくり □住環境整備 ■会員拡大
■建築士(会)の周知 ■次世代育成 □その他()

●企画運営団体 ■上記建築士会名 ■その他(室蘭市立青少年科学館共催)

●活動の背景
青年会員数減少により数年前より途絶えていたふれあい木工教室であったが、市民との建築を通しての繋がりを再構築させたかった為、少人数ではあったが開催することを決定した。

●活動目的
室蘭市立青少年科学館共催「ふれあい木工教室」を通して近年木材に触れることがない子供達に、簡単な図面の見方、加工の仕方、組立方等物作りの楽しさを体験してもらい、未来の建築士を育てる事、または建築士会のイベント等に興味を持ってもらう事を目的とする。

●活動内容と成果
平成30年1月6日(土)に室蘭市立青少年科学館3Fにて開催。 制作物 ー 鳥の巣箱
材料はあらかじめ(有)高橋建設加工場で板厚を削り落とし、当日の作業は子供達が図面を見て、長さを測り木材を切断、組立する事としました。運営側はあくまでもサポートとして、子供または親子が中心となって製作してもらいました。木材を縦(繊維方向)に切断する事や、壁板の固定など苦戦もしましたが、和気藹々としてとても良い雰囲気で開催する事が出来、作業後はちびっ子建築士免許証を渡しました。作り終わった巣箱を冬休みの工作にしたり、帰ってから家の庭に飾ってくれたりしてくれました。何より自分で作った巣箱を見て皆誇らしげでとても楽しそうでした。
今回の「ふれあい木工教室」は定員10名に対し30名位の応募があったことからとても興味があったイベントだと思います。科学館の担当者からもとてもハイクオリティーな巣箱だと絶賛されていました。また科学館の方からは是非このようなイベントであれば毎年科学館で開催して欲しいとの嬉しいお言葉も貰い、子供達も物作りの楽しさ、建築士会のイベント等にとっても興味を持ってもらえてようです。

●集客方法
室蘭市広報により集客

●活動収支	収入	-	支出	50,000
-------	----	---	----	--------

●来場者	運営側	建築士会	科学館	計	参加者	児童	保護者	-	-	計
		9	3	12		10	8			18

連携・協力組織 室蘭市立青少年科学館・市内建設業者・建築士会会員



写真①



写真②

●今後の課題
今後は、より魅力的な作品を提案し、沢山の参加者を募ると共に、運営側の会員以外の参加者を積極的に募り、より多くの人たちに物作りの楽しさを伝えたい。

●今後の計画
平成31年度も継続で実施予定です。会員以外の参加者をより多く募集する為に、支部だよりや会員による声掛け、SNSによる周知、市内学校等の関係機関と実施時期や内容等の密な調整を行い、「ふれあい木工教室」の規模を拡大させて行きたいと思えます。

問い合わせ先	北海道建築士会 室蘭支部青年委員会	担当者	高橋 友樹
連絡先	TEL 0143-23-3693	FAX 0143-24-4511	e-mail taka-tomo3693@honey.ocn.ne.jp
ホームページアドレス			

地域実践活動事例報告シート

平成29年度 ■北海道ブロック □東北ブロック □関東甲信越ブロック □東海北陸ブロック □近畿ブロック
□中四国ブロック □九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社)北海道建築士会 日高支部 事業名 ちびっ子建築士の絵画コンクール

●活動の種別 □建築物調査、保存・再生 □景観形成、街並み保存・修景 □地域活性化 ■教育・人づくり
□防災まちづくり □ユニバーサルデザイン □環境保全 □住まいづくり □住環境整備 □会員拡大
■建築士(会)の周知 ■次世代育成 □その他()

●企画運営団体 ■上記建築士会名 □その他()

●活動の背景
地域における建築士の担い手不足が課題となっている。

●活動目的
こどもの未来の職業の選択肢の一つに「建築士」を加えてもらうことを目的とする。

●活動内容と成果
日高管内7町の28小学校を訪問し、「ぼくの家・わたしの家」をテーマとした絵画コンクールを開催する旨説明したうえで、対象となる小学校4年生(550名)全員分の応募用紙を配布。夏休みが明ける8/29(火)を締切として応募作品を回収。52点の応募を受け、支部青年委員による厳正な審査を行い、支部長賞1点、金賞4点、銀賞8点を選定。新ひだか町地域交流センターピュアプラザにて、8/30(水)～9/18(月)まで応募作品を展示し、9/16(土)に同施設で、表彰式を開催。受賞者13名中9名出席。親族・関係者を含め、30名程度の規模で表彰式を実施。

●集客方法
対象者全員に応募用紙を配布。

●活動収支 収入 なし 支出 100,000円

●来場者	運営側	収入				参加者	支出			
		建築士会	他団体	計	会員		建築士	一般	子ども	計
		5	0	5	0	5	11	14	30	

連携・協力組織

「上手に描けました」
ちびっ子建築士絵画コンクール表彰式





写真① 日高報知新聞 (H29.9.20) 掲載記事

写真② 表彰式での記念写真

●今後の課題
応募者数の減少

●今後の計画
応募者数の減少が顕著なため、平成30年度については小学生を対象にした別事業を計画中。実施時期については夏休み期間中を予定。

問い合わせ先 日高支部青年委員会 担当者 亀田 誠
連絡先 TEL 0146-43-2111内線269 FAX 0146-43-3900 e-mail kensetu@shinhidaka.hokkai.jp
ホームページアドレス

北海道建築士会青年委員会 活動事例報告シート

平成29年度 道央ブロック 道南ブロック 道東ブロック 道北ブロック

支部名 函館支部 事業名 大野小学校「マイはし作り」体験 (木材からの削り出しから色塗りまで)

● 活動の種類 地域貢献 スキルアップ 仲間づくり

● 主催団体 青年委員会 その他 ()

● 活動組織の概要 (青年委員会の人員・事業予算・事業方針)

- ・ 人 員 10名
- ・ 事業予算
- ・ 事業方針 大野小学校の子供たちや親御さんに建築士や建築士会の活動を知ってもらう。

● 活動目的

大野小学校の子供たちや親御さんに建築士や建築士会のPR 地域貢献 青年委員会の絆づくり

● 活動内容と成果

【内容】ものづくりの楽しさ、デザインすることの楽しさ、木という資源の大切さ、ものを大事にするという気持ち、箸という道具の素晴らしさ、また箸という道具を生み出した日本文化の素晴らしさ等々を建築士を通して伝える。

【成果】建築士会の活動をPRしつつ、木のあたたかさや物を作る楽しさが伝わったと思います。そして親子のコミュニケーションのツールとして大変楽しんでもらいました。

● 活動収支

参加者	青年建築士	一般会員	一般建築士	保護者	学生	合計
	10名			21	29	60名

連携・協力組織 北斗市大野小学校 5年2組PTA学級代表委員会

【記事本文】
 「北斗」北海道建築士会函館支部青年委員会のメンバーが本朝の箸作り体験会を開催。マイはし作り体験が7月26日、大野小で開かれ、5年2組の児童と保護者50人が参加し、5年2組のPTA学級代表委員が講師を務めた。委員が講師を務め、木を通じた箸作りを通して、木を大事にするという気持ちや、箸という道具の素晴らしさや、また箸という道具を生み出した日本文化の素晴らしさ等々を建築士を通して伝える。同支部青年委員会は、今年度、建築士会の活動をPRしつつ、木のあたたかさや物を作る楽しさが伝わったと思います。そして親子のコミュニケーションのツールとして大変楽しんでもらいました。



写真①

写真②

● 今後の課題

もっと浸透しやすい建築士会のPRや挨拶の仕方を考える

● 今後の計画

恒例行事のように地元の方に認識してもらえるよう定期的に開催する。一緒に活動できる仲間づくりをしていきたいと思ひます。

問い合わせ先	(一社)北海道建築士会 函館支部青年委員会	担当者	林 裕馬
連絡先	TEL 0138-27-6858	FAX 0138-27-6859	e-mail yuuma1214427@gmail.co
ホームページアドレス			